校長だより

令和7年12月24日(水)

岸和田市立岸城中学校　松下　孝徳

本日令和7年2学期の終業式を行いました。あと7日もすれば令和7年も終わります。12月を師走といいます。ある一説の語源では、お坊様が走りまわらなければいけないほど忙しい月ということから当てられたとされています。「一年の計は元旦にあり」と言われていますが、やはり「一年の計は師走にありですね。

終業式では今年も一文字について話をしました。清水寺での本年の一文字は「熊」でした。今年は多くの熊による被害が出ました。亡くなられた方も多数でました。野生動物との共生を考えさせられる一年でした。岸城中学校の一文字は「挑」です。それは令和7年度様々な取り組みに挑戦し続けた一年でした。「新」たな仲間とともに、挑戦し、多くの発見と経験を積みました。ちなみに私の一文字は「育」です。先生方に様々な役割を行ってもらい、経験をしてもらいました。先生方を支えるのが私の使命です。先生方がすべての生徒を幸せにするのが目標ならば、先生を仕事において幸せにするのが管理職の目標です。先生が幸せになれば、生徒も幸せになれると信じています。そんな一年でした。皆さんの一文字は何ですか？皆さんも今年を振り返り、ご家庭で一文字を考えてみてはいかがでしょうか。

今月の出来事を紹介しますね。

※面接練習…12月16日(火)来年行われる受験に向けて3年生では面接練習を行いました。本年度は各クラス4～5人のグループで校長、教頭が面接官になって行いました。みんな緊張した面持ちで取り組みました。4.5個の質問を行いましたが、非常に上手く返答していました。インフルエンザで欠席の人も多かったですが、補充期間を設けて、すべての生徒と練習をしました。3学期は個人面接がある学校の生徒対象に練習を行います。うまくいきますように…。

※合唱コンクール…浪切ホールで12月5日(金)合唱コンクールを行いました。昨年の感動や伝統をどのような形で引き継いでくれているのか、とても楽しみにしていました。どの学年もしっかりと準備をしてきました。ただ各クラスでは一生懸命になるがゆえの、多くの摩擦やトラブルが起きていました。しかしそれによって化学反応を起こしていました。特に3年生はすべてのクラスが3点差の間に入るほどの大接戦を演じました。14クラスの大きな音の球が浪切ホールを包んでいました。本年度も私は最初からずっと感動で涙、涙でした。岸城中学校のみんな！感動をありがとうございました。3年生の魂はしっかりと後輩に引き継がれました。卒業式ではきっと体育館を大きな音の玉で包み

込んでくれるでしょう。

岸城中学校の教育活動にご支援、ご協力賜り誠にありがとうございます。令和8年も「すべての職員はすべての生徒を幸せにできる学校」を目指して『挑戦』していきます。

良いお年をお迎えください。